



第 89 期 報 告 書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

Sensor Innovation
北陸電気工業株式会社



株主の皆様へ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2023年3月31日をもって第89期を終了いたしましたので、当社グループの

営業の概要ならびに決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度の概況

当連結会計年度の世界経済は、コロナ禍で生じた供給制約にウクライナ情勢による資源調達難が加わったことからインフレが進行し、さらに中国のゼロコロナ政策による都市封鎖および規制緩和後の感染急拡大の影響やグローバルに継続する半導体供給問題などにより、欧米、アジアとも景気は減速基調となりました。

わが国におきましては、ウィズコロナの生活様式定着に伴い個人消費の持ち直しが見られましたが、資源価格の高騰および円安に伴う物価上昇から回復の動きは緩やかなものとなりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、自動車の生産が中国の都市封鎖および半導体の供給制約継続により伸び悩み、また、スマートフォンやパソコンの需要が減少したことから、電子機器の生産および電子部品需要は弱含みの推移となりました。

こうした状況のなかで、当社グループ（当社および連結子会社）におきましては、付加価値率の高い新分野への拡販を図る一方、生産効率の改善に努めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高が45,459百万円（前期比+12.4%）、営業利益は2,941百万円（同+41.7%）となり、経常利益は円安に伴い為替差益515百万円を計上したことから3,581百万円（同+40.6%）となりましたが、顧客の民事再生手続開始の申立てに伴う取引先関連事業損失2,004百万円およびカナダにおける集団民事訴訟の和解金93百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は647百万円（同△66.8%）となりました。

財政状態

（資産、負債および純資産の状況）

当連結会計年度末は前連結会計年度末に比べ、総資産は現金及び預金や棚卸資産の増加を主因に、2,020百万円の増加となり、負債は借入金の増加を主因に863百万円の増加となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、1,157百万円の増加となりました。うち、株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益により647百万円増加し、剰余金の配当により376百万円減少したことなどから、274百万円の増加となり、その他の包括利益累計額は、アジア通貨高円安による為替換算調整勘定の増加を主因に882百万円の増加となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ848百万円増加し、6,253百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は629百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益1,499百万円、減価償却費1,097百万円に対し、棚卸資産が2,336百万円増加したことが主因であります。

投資活動の結果使用した資金は1,045百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出757百万円などによるものであります。

財務活動の結果得られた資金は773百万円となりました。これは、借入金の純増1,284百万円、配当金の支払い376百万円などによるものであります。

次期の見通し

世界経済は新型コロナウイルスの感染拡大が収束傾向となり、サービス分野の需要に回復が見られる反面、巣ごもり需要の一巡に伴い財需要が停滞しており、さらに欧米の金融不安が先行きの不透明感を強めています。

エレクトロニクス市場におきましても、自動車生産の回復や在庫調整の収束が見込まれるものの、民生用電子機器の需要に力強さが見られず、先行きは予断を許さないものと考えており、当社といたしましては、自動車の電子化、機器の高機能化、IoTなどの技術革新が進む市場の変化に対応した取り組みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

多田 幸男



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流動資産	30,132
現金及び預金	8,052
受取手形及び売掛金	10,064
商品及び製品	1,743
仕掛品	3,958
原材料及び貯蔵品	4,319
その他	2,014
貸倒引当金	△19
固定資産	12,847
有形固定資産	8,761
建物及び構築物	2,572
機械装置及び運搬具	3,081
土地	2,847
その他	260
無形固定資産	376
投資その他の資産	3,708
投資有価証券	1,124
繰延税金資産	1,232
その他	2,372
貸倒引当金	△1,021
資 産 合 計	42,979

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
流動負債	15,803
支払手形及び買掛金	7,737
短期借入金	5,690
未払法人税等	295
賞与引当金	446
取引先関連事業損失引当金	413
その他	1,219
固定負債	10,068
長期借入金	5,397
リース債務	227
繰延税金負債	10
再評価に係る繰延税金負債	318
退職給付に係る負債	4,050
その他	63
負債合計	25,872
(純 資 産 の 部)	
株主資本	14,886
資本金	5,200
資本剰余金	5,038
利益剰余金	5,804
自己株式	△1,156
その他の包括利益累計額	2,221
その他有価証券評価差額金	139
土地再評価差額金	665
為替換算調整勘定	1,432
退職給付に係る調整累計額	△16
純資産合計	17,107
負債・純資産合計	42,979

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	45,459
売上原価	37,560
売上総利益	7,898
販売費及び一般管理費	4,956
営業利益	2,941
営業外収益	787
受取利息及び受取配当金	85
為替差益	515
その他	186
営業外費用	147
支払利息	61
その他	85
経常利益	3,581
特別利益	43
固定資産売却益	0
保険解約返戻金	40
その他	2
特別損失	2,125
固定資産売却損	3
固定資産除却損	21
取引先関連事業損失	2,004
訴訟和解金	93
その他	1
税金等調整前当期純利益	1,499
法人税、住民税及び事業税	574
法人税等調整額	277
当期純利益	647
親会社株主に帰属する当期純利益	647

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

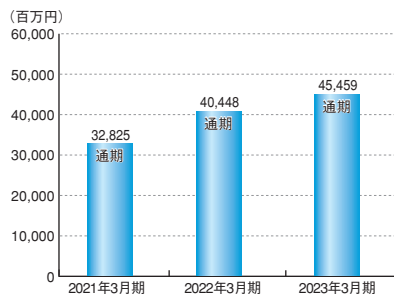
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,499
減価償却費	1,097
売上債権の減少額	321
棚卸資産の増加額	△2,336
仕入債務の増加額	181
その他	△133
営業活動によるキャッシュ・フロー	629
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△757
その他	△287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額	1,100
長期借入金の純増額	184
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△376
その他	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	773
現金及び現金同等物に係る換算差額	491
現金及び現金同等物の増加額	848
現金及び現金同等物の期首残高	5,404
現金及び現金同等物の期末残高	6,253

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

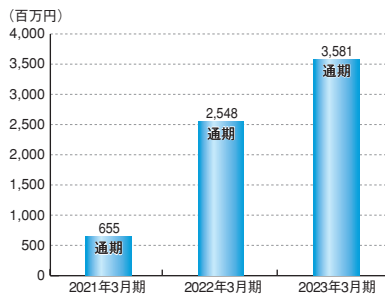


連結決算ハイライト

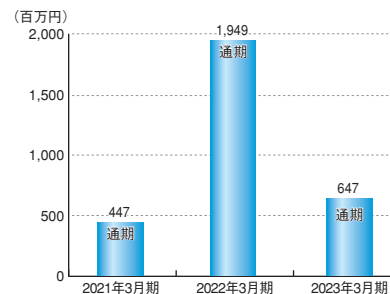
売上高



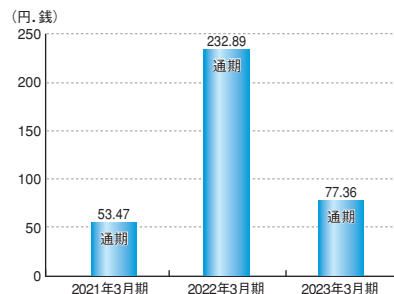
経常利益



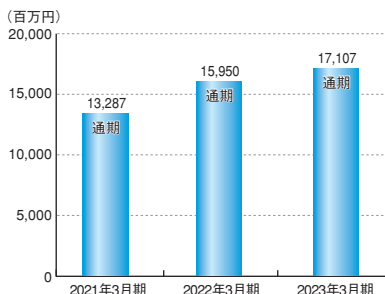
親会社株主に帰属する当期純利益



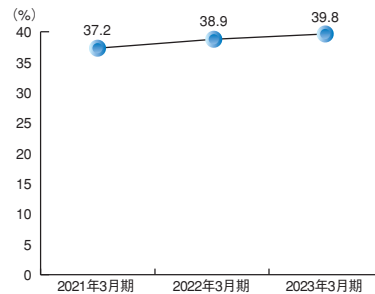
1株当たり当期純利益



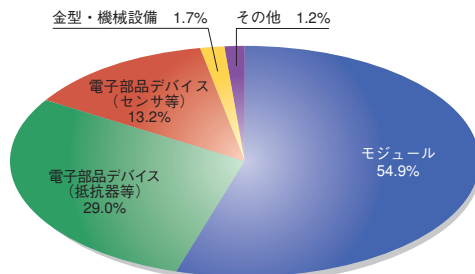
純資産額



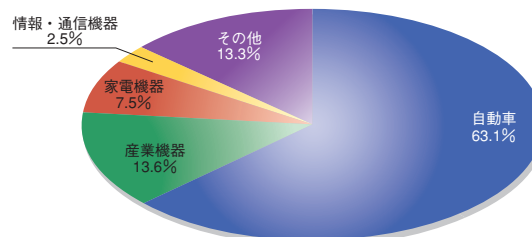
自己資本比率



2022年度 製品別売上高構成比



2022年度 市場別売上高構成比



会社の概況 (2023年3月31日現在)

報告書 Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

株式の状況

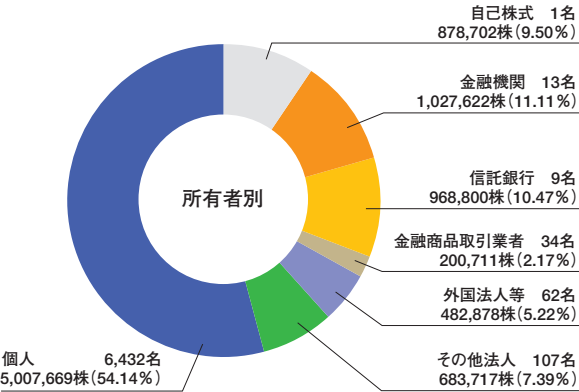
発行可能株式総数 25,000,000株
発行済株式の総数 9,250,099株
株主数 6,658名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	671 千株
北電工取引先持株会	445
北電工従業員持株会	374
株式会社 北陸銀行	331
成川武彦	272
株式会社 北國銀行	218
株式会社 日本カストディ銀行(信託口)	185
前田建設工業株式会社	164
株式会社 富山銀行	139
コーセル株式会社	112

(注) 1. 当社は自己株式878千株を所有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 株式数は、千株未満を切捨てて表示しております。

所有者別分布状況



会社概要

社名	北陸電気工業株式会社
英文社名	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.
所在地	〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
T E L	076-467-1111
F A X	076-468-1508
U R L	https://www.hdk.co.jp/
設立	1943年(昭和18年)4月4日
資本金	5,200百万円
事業内容	固定・可変・チップ等各種抵抗器、圧力・加速度・湿度等各種センサ、モジュール製品、ペーストスルーホール基板等各種電子部品の開発・製造・販売、その他の事業

取締役および監査等委員である取締役 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長	多田守男
常務取締役	しも下坂立正
取締役	にしむらゆう西村裕司
取締役	むらかみよし村上吉憲
取締役	あんどうまさ安藤正人
取締役常勤監査等委員	すぎもとまなぶ杉本学
取締役監査等委員	きたのそのまさ北之園雅章
取締役監査等委員	きくしまさと菊島聡史
取締役監査等委員	いむらかず井村一明
取締役監査等委員	つばかわさだ坪川貞子

(注) 北之園雅章氏、菊島聡史氏、井村一明氏および坪川貞子氏は社外取締役であります。



製品紹介

IoT関連商品



ヤマシスト
YAMAssist

双方向通信の登山者位置検知システム
ヤマシストYAMAssist

ヤマシストシステムは、スマホ圏外でも
①助けを呼べる②登山者を捜せるシス
テムです。端末同士で定型文のやり取り
も可能です。大きさは104×69×26
mm、重量140gと手ごろなサイズであ
り、最長7日の長時間使用も可能です。



SRPCシリーズ
(ソーラー無線ソリューション)

太陽電池+無線
ネットワーク+
センサーをワン
パッケージにし
たSRPCシリー
ズ。電源不要で
あり、しかも約
1kgと軽量です。



920MHz帯特定小電力
無線モジュール

特定小電力規格
(ARIB STD-T
108)に準拠し
た機器組み
用の920MHz帯
特定小電力無線
モジュールです。

各種センサ群

車載用やIoT機器を中心として幅広い用途に使用されています。

[NTCサーミスタ]



NTCサーミスタ

樹脂コートタイプサーミスタ素子をラインナッ
プしております。樹脂コートタイプは、独自の
絶縁コート剤により高い防湿性(耐煮沸性)
を実現しており、エアコン等の家電用の他、
信頼性が要求される自動車用(室内温、外
気温、吸気温、水温等)にも使用可能です。

[自動車用センサ]



自動車用センサ

自動車用センサは、高精度であること
に加えて厳しい環境変化にも十分機能
することができる様に高い信頼性が求
められます。当社では、これらのニーズ
に対応した各種自動車用センサをライン
ナップしております。

[フォースセンサ]



小型フォースセンサ(0~10N検知タイプ)



超小型フォースセンサ(0~5N検知タイプ)

小型・薄型で10N以下の微小荷重検知が可能なセンサで
す。小型低背、更に出力がリニアで使いやすく、荷重の
微小変化や強弱が検知できるため、調理家電やスタイラ
スペン等各種アプリケーションに対応可能です。

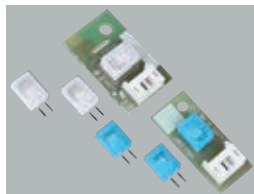
[圧力センサ・圧力センサモジュール]



圧力センサ・圧力センサモジュール

ピエゾ抵抗式の半導体圧力センサです。センサ
単体の他、水位検知、ガス圧検知等の各種
圧力センサモジュールをラインナップしています。
中でも水位センサモジュールは、ミリメートル単
位の検知が可能で非常に高精度であり、またア
ナログ出力、デジタル出力タイプを取り揃えて
おり、更に取り付けタイプも基板取付けタイプ、
フランジねじ取付けタイプを用意し、洗濯機や
食器洗い機、エコキュート等各種水位センシ
ングのニーズに対応しています。

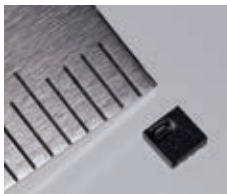
[抵抗式湿度センサ]



抵抗式湿度センサ

快適な生活空間に欠かせない湿度センサ。当社の抵抗
式湿度センサは、1986年よ
りエアコンや除湿機、事務
用機、更には自動車等各種
用途向けに幅広く使用され
ており、高い実績と信頼性
を得ています。

[容量式湿度センサ]



容量式湿度センサ

以前から実績のある抵抗式湿度センサに加え、
新たに2mm角と超小型サイズの容量式湿度
センサをラインナップに加えました。
抵抗式では計測が困難であった0%RH~100
%RHの広範囲の計測が可能です。
更に応答時間が世界最速(既存品の10秒程
度から1秒以内まで応答性を改善)である高速
応答タイプ容量式湿度センサも開発しました。

■ 高付加価値チップ抵抗器

【金属板抵抗器】



金属板抵抗器

電流計測用のチップタイプの金属板抵抗器です。数mΩの超低抵抗まで製造可能です。

【耐アーク性チップヒューズ】



耐アーク性チップヒューズ

独自の素材、構造によって1608サイズの小型でありながら高定格電圧で強力なアーク抑制特性を実現した速断タイプのチップヒューズです。

【耐サージ形高電力チップ抵抗器】



耐サージ形高電力チップ抵抗器

耐サージ形高電力チップ抵抗器製品に比べて定格電力が大きく車載用に最適です。

【JAXA認定チップ抵抗器】



高信頼性チップ抵抗器

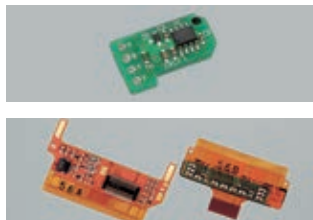
JAXA認定の宇宙用の高信頼性チップ抵抗器です。

■ 主要製品

【モジュール製品】



各種電子回路機能モジュール



実装モジュール

先端実装技術を駆使したモジュール製品。従来からの民生用液晶モジュールに加え、車載液晶モジュールや自動車用メーターパネル等の各種車載用モジュールを拡大するとともに、白物家電、ヘルスケア等各種分野へ幅広く展開しております。

【圧電部品】



圧電振動板



圧電サウンダー・スピーカー

独自の圧電材料技術、積層技術により生み出される圧電サウンダー、スピーカー、アクチュエーター等の圧電部品は、省エネで薄型であり、車載用や民生用に幅広い分野で使用されています。

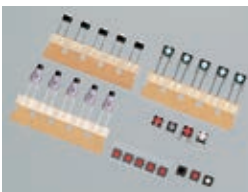
【各種チップ部品】



各種チップ部品

車載電装品、生活家電等の製品に欠かせない各種チップ部品。当社では0402サイズの超小型チップ抵抗器の他、チップネットワーク抵抗器、チップ半固定可変抵抗器、また電流検出用チップ低抵抗器、耐硫化チップ抵抗器、耐サージチップ抵抗器、高電力チップ抵抗器（長辺電極チップ抵抗器）等の高機能チップ抵抗器、チップヒューズ等各種チップ部品を取り揃えています。

【機構部品】



タクティールスイッチ

電向けの防水タイプも製品化しており、更に端子形状もリードタイプ・表面実装タイプをラインナップしております。

【ペーストスルーホール基板】



銀・銅ペーストスルーホール基板

ますます電子化が進展する自動車。当社のペーストスルーホール基板は、民生用電子機器の他、自動車のメーターパネル用としても使用されています。



HOKURIKUグローバルネットワーク



株式事務のご案内

□ 報告書

Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
一単元の株式の数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 受付時間 月～金 9:00～17:00（土・日・祝日を除く） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証プライム市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.hdk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご 案 内

INFORMATION

記載の連結財務諸表等の詳細につきましては、
当社のホームページのIR情報の決算情報にて
ご覧いただけます。



<https://www.hdk.co.jp/>



北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
TEL.076-467-1111 FAX.076-468-1508
3158 Shimo-okubo, Toyama-City, Toyama Pref. 939-2292, JAPAN



この冊子は植物性インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。